

記入例

別記

第1号様式（第6条関係）

市内事業者デジタル化トライアル補助金交付申請書

令和8年 10月 1日

南房総市長

宛

住所 南房総市富浦町青木28番地

会社名 デジタル物販株式会社

代表者氏名 代表取締役 デジタル 太郎

令和8年度において、事業計画書に基づく補助事業を別紙のとおり実施しますので、下記のとおり補助金の交付を申請します。

記

補助対象事業名 業務効率化支援事業

補助金交付申請額 金500,000円

記入例

第2号様式（第6条関係）

事業計画書

1 申請者概要

企業名	デジタル物販株式会社
所在地	南房総市富浦町青木28番地
代表者名	代表取締役 デジタル 太郎
連絡先	(電話番号) 0470-33-1092 (メールアドレス) shoko@city.minamiboso.lg.jp
担当者名	経理部 デジタル 小太郎
業種	小売業
従業員数	20人
売上高	100,000千円
経常利益	10,000千円
現状	弊社は、地元産品を地域内外へ販売する会社です。業務内容は、地元で作られた商品を地域内外の店舗へ販売、自社サイトでの自社販売を行い、商品を通して南房総の良さを地域内外へPRしています。扱う商品や取引先も年々増えている状況です。
課題	弊社の抱える経営課題は、売上と在庫管理です。商品と取引先が年々増えたことで、管理体制が煩雑になりました。そこで適時の売上と在庫管理の見える化を行い、弊社が抱える経営課題を解決したいと考えております。
目指す将来像	弊社の目指す将来像としては、売上と在庫管理を一括に管理できるデジタルツールを導入することで、適時の売上状況や在庫管理の見える化し、売上目標の進捗確認、発注や欠品対応等の業務時間の削減を目指します。 業務時間を削減させ、更なるサービスの向上を図ります。

記入例

2 補助事業の内容

補助対象事業	<input checked="" type="checkbox"/> 業務効率化支援事業 <input type="checkbox"/> 集客拡大支援事業
取組内容	弊社の取組み内容は、以下4点です。 ①売上と在庫管理連動のソフトを導入する。 ②売上管理と会計ソフトが連動するよう設定する。 ③適時の売上状況から発注のタイミングや目標管理、在庫状況から欠品や発注ミスなどを減らす。 ④売上と会計管理の連動で、業務時間を削減する。
ソフトウェアの名称 ※1	〇〇〇一括管理ソフト
専用機器の必要性 ※2	
期待すべき効果	弊社のデジタル化に伴う取り組むことで、業務時間の削減、人的ミスの防止を実現し、弊社のサービス向上が期待されます。
実施スケジュール	申請日 令和8年10月1日 購入（利用開始）日 令和8年10月16日 完了日 令和8年10月18日 供用開始日 令和8年10月19日
その他	

※1 業務効率化支援事業の申請者のみ記載すること。

※2 専用機器が必要不可欠な理由のみ記載すること。

記入例

別紙1 (事業計画書添付書類)

補助事業に関する収支計算書

1 収入の部

	金額	摘要
自己資金	80,000円	
借入金	300,000円	〇〇信用金庫
補助金	500,000円	
計	880,000円	

2 支出の部

業務効率化支援事業

経費区分※1	補助事業に要する経費	補助対象経費※2	数量	用途 (具体的に)
ソフトウェア利用料	880,000円	800,000円	1式	〇〇〇管理ソフト
計	880,000円	800,000円		

集客拡大支援事業

経費区分	補助事業に要する経費	補助対象経費※2	数量	用途 (具体的に)
計				

(注意) ※1 経費区分は、補助対象経費から選択すること。

※2 補助対象経費は、消費税及び地方税を除いた額を記載すること。

3 補助金申請額

補助対象経費×2/3	補助金申請額
530,000円	500,000円